

中小企業のIT・ソフトウェアの活用状況に関する調査（2023年1月）

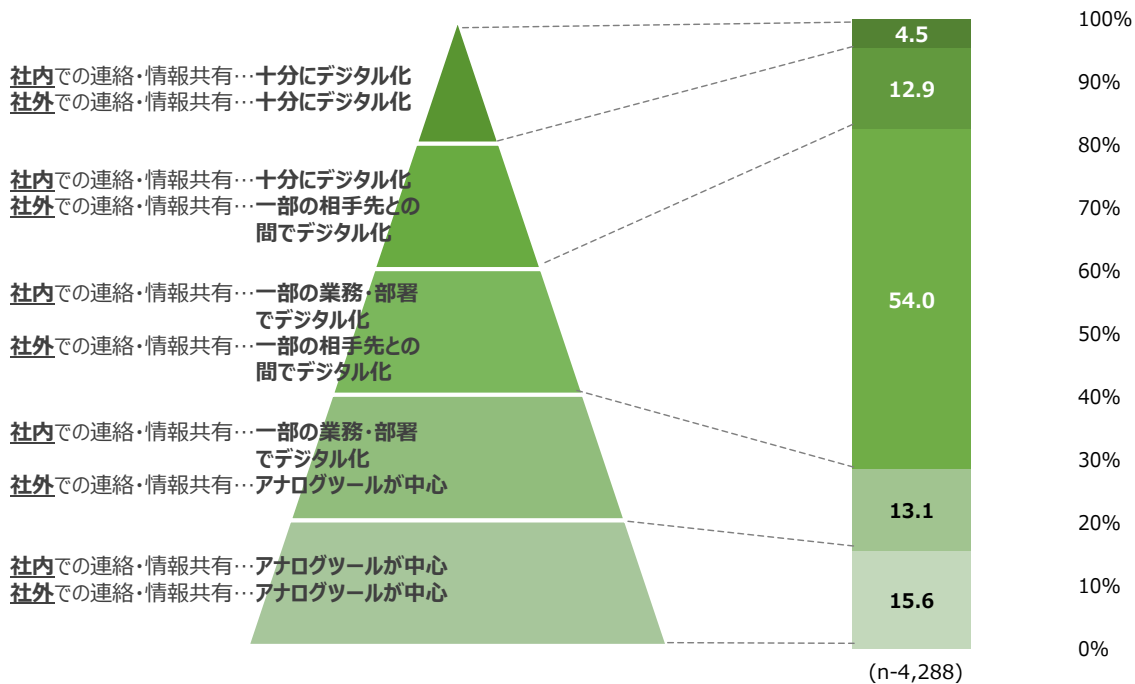
調査要旨

■ 中小企業のIT・ソフトウェアの活用フェーズ

中小企業における、連絡・情報共有のデジタル化のフェーズについて、「社内では一部の業務・部署でデジタル化しており、社外でも一部の相手先との間でデジタル化」できているという段階の企業が全体の約半数を占める。社内・社外とも「十分にデジタル化」できていると自己認識する割合は4.5%と僅かにとどまる。

<IT・ソフトウェアの活用フェーズイメージ>

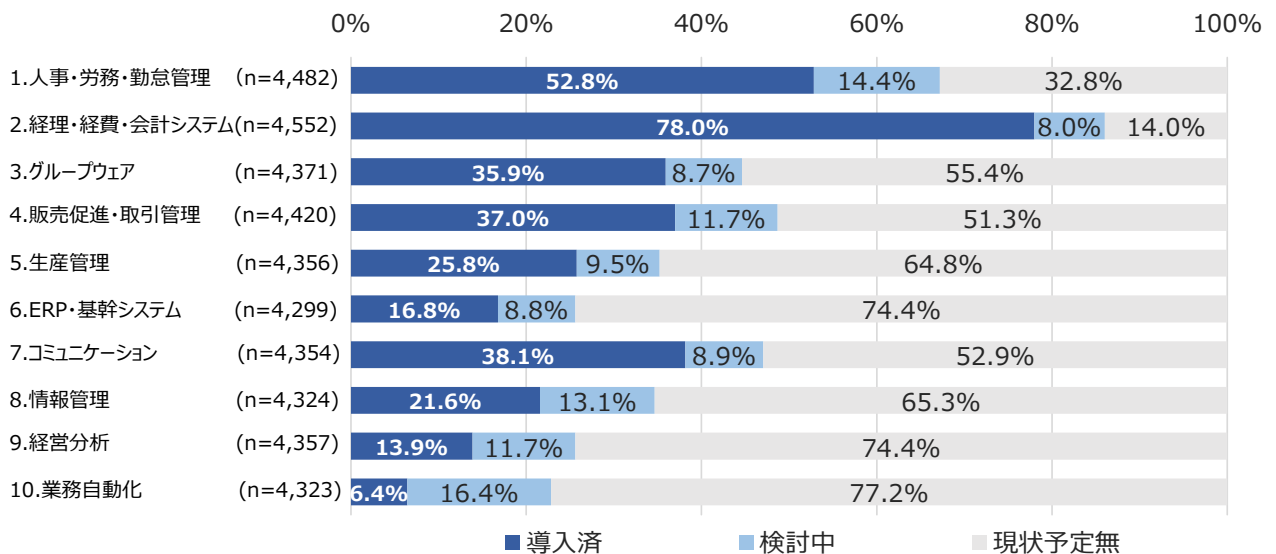
<中小企業のIT・ソフトウェアの活用状況>



■ IT・ソフトウェアの分野別導入状況

分野別にみると、「経理・経費・会計システム」、「人事・労務・勤怠管理」は、IT・ソフトウェア導入率が高く、効果も得られている。一方、その他の分野では、全般的に効果はあまり実感されていない。中小企業のIT・ソフトウェア導入について、事務効率化・合理化効果を得やすい庶務・総務的な分野以外では、広がっていない実態がうかがわれた。

<IT・ソフトウェアの分野別導入状況>



▼詳細は別添をご覧ください。 →「[中小企業のIT・ソフトウェアの活用状況に関する調査（2023年1月）](#)」